

令和5年度成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-tech事業）第2回 採択案件一覧

研究開発計画名	研究開発の概要	主たる技術区分	事業管理機関名	主たる研究等実施機関
多様な環境に合わせて自動で設置可能な映像認識エッジAIミドルウェア開発	AWL Engine（弊社のエッジAI用エンジン）のAIモデルは低演算量で動作するが、店舗既設の小規模デバイスでは、演算能力不足となってしまう場合がある。また、デバイス増設時に既設のデバイスの演算能力を活用できず、使用効率が悪化することも展開時の課題である。当社はモデルを複数のサブモデルに分割、配置する手法と、時間変化する処理負荷に応じて動的にサブモデルを配置する手法を開発し、課題を解決する。	情報処理	AWL株式会社 ザ・サン・ストラテジック・ソリューションズ株式会社	AWL株式会社
脳卒中慢性期患者を対象にした新規再生医療等製品の研究開発	脳卒中である脳梗塞と脳出血は、いずれも重篤な神経症状を後遺して日常生活に多大な支障をきたす。脳卒中慢性期患者は増加しているが、後遺症の改善を見込める治療は、現状ではリハビリテーションだけで、その効果には限界がある。ゆえに後遺症を回復させるための治療法開発が課題である。本事業では、脳梗塞慢性期に対する再生医療等製品HUNSO01と、脳出血慢性期に対する再生医療等製品HUFF-01の研究開発を行う。	バイオ	国立大学法人北海道大学	株式会社RAINBOW
酵素改良による無機ポリマー医薬品原料の大量合成法の開発	当社で取り組む無機ポリマー医薬品の原料：長鎖ポリリン酸はポリリン酸合成酵素を用いた酵素伸長反応により合成されるが、酵素自体の遺伝子組み換え発現効率が低く、商業的製造レベルでの大量合成の足かせとなっている。本事業では「ポリリン酸合成酵素」をバイオ技術により改良することで発現量を向上させ、原薬製造工程のスケールアップとあわせて、商業的製造に対応できる原薬生産性を実現する。	バイオ	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター	カムイファーマ株式会社
車両、橋梁等に用いるボルト・ナットの締結度検査装置の研究開発	大型車の車輪脱落事故は歩行者等を巻き込む重大事故につながりやすく、国土交通省から注意喚起やねじ止め規格の見直しを要請しているが、事故の発生件数増加に歯止めはかかっておらず、対策が求められている。本研究では事故原因である「ボルト・ナットのゆるみ」を定量的に測定するテスターと打検ハンマーを開発し、運送業界における車輪脱落事故の防止や橋梁等建設分野など関連分野への利活用と普及を目指すものである。	測定計測	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター	日東建設株式会社